

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 173 2月号

2020年2月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>

播磨科学公園都市圏域  
定住自立圏電子図書館

電子図書館へは、  
右のQRコードから  
(<https://www.d-library.jp/haritei/>)



## 読書と私 No.163

### 「My 子育てセンター」

御津町 田邊 恵理

幼い頃、母がよく図書館へ連れて行ってくれました。おかげで、本を読むことが好きになりました。今は、私が息子たちを図書館へ連れて行っています。

行くときは、公園感覚で気軽に寄っています。好きな汽車や電車の本を目当てにワクワク気分。おもしろい本に出会えたら、目がキラキラ。そういう本への道しるべに、図書館には展示コーナーや読み聞かせ・イベントなど楽しい仕掛けがたくさんあります。

そして、公共の場でのマナーやルールを学ぶことができます。「こんにちは」の挨拶に始まり、「新幹線の本はありますか？」など丁寧な言葉遣いを心がけたり、椅子に座って静かに本を読んだり、お互いが気持ちよく過ごせるために必要なことを学べる貴重な場でありがたいです。

嬉しいことに、一緒に行って子どもが本を読んでいる間に少し本を読むことができたり、職員の方々とお話ができたりして、気分がふっと軽くなります。子育て中の皆さん、図書館へ行きましょう。育児、時短料理、片付けと掃除・免疫力アップなど生活や自分自身に直結する本もいっぱいあります。読んだだけでできた気分になってしまうくらいです。

この1年で息子たちが読んだ本は1,500冊を超えました。中には、好きで何度も借りる本もあります。初めて読む本は、思いがけず、こころの芯に迫る場合もあるので、毎晩読み聞かせをするのが楽しみです。

今の私にとって図書館は「My 子育てセンター」。きっと「My ○○センター」と○○に入る言葉は、癒し・学習など人によって違うと思います。いつまでも「また 行こう」と思える図書館であってほしいです。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『犬であるとはどういうことか その鼻が教える匂いの世界』

アレクサンドラ・ホロウィッツ 著 白揚社 346ページ 2018年12月刊



この本で著者は、犬の鼻が何を知っているのかを探ろうとする。犬があなたの体に鼻を寄せ、地面や他の犬の毛の中に深く鼻を突っ込む時、いったい何を嗅いでいるのか？あなたの犬はあなたについて何を知っているのか、などのテーマを追うノンフィクションである。

犬は人間のさまざまな病状を検知することができる。例えば、がん細胞が発する独特の匂いを嗅ぎ取ることができる。1ピコグラム（1兆分の1グラム）の爆薬にも反応したり、麻薬を探したりすることができる。

また、「犬が主人の帰宅時間をわかるように見えるのはなぜか」という疑問に、著者は、犬がお腹の減り具合や、日の暮れ具合から判断して

いるのではなく、部屋の中に残っている飼い主の匂いの減り具合によって、日常的な主人の帰宅時間を割り出しているようだと結論づけている。実際に、主人の外出からある程度時間がたってから、主人の匂いを部屋にふりまいておくと、いつも飼い主の帰宅時にドアの前で待っているという犬を、ぐっすりと眠らせておくことに成功したのである。こんなふうに鼻が教える世界とは、どういう感じなんだろう？

著者は、犬にならって四つんばいで街中を嗅ぎまわり、何百種類もの匂いを嗅ぎ分ける訓練を受け、独自の調査を実施した犬の認知行動の権威である。その著者が、ユニークな観察をおして「犬であるということ」を明らかにする。

同著者の『犬から見た世界』（新宮図書館所蔵）も、併せて一読して欲しい。

（龍野図書館 片岡）

トピックス

※申込、問い合わせは各図書館まで

御津図書館

わらべうた講座

- 【講師】 小早川 美鈴 氏（姫路おはなしの会）
- 【日時】 ①2月6日（木）②2月26日（水）  
10時30分～11時30分
- 【場所】 御津図書館 2階 多目的室
- 【対象】 ①2歳～6歳児と保護者 ②0歳～1歳児と保護者
- 【定員】 ①②共 12組（先着順・要申込）
- 【申込】 御津図書館（電話可）

龍野図書館

一般向け講座 竹細工教室

- 小物入れに最適な、直径15cm程のかごを作ります。
- 【講師】 竹遊たつの
- 【日時】 3月1日（日）10時30分～12時30分
- 【場所】 龍野図書館 2階 研修室
- 【対象】 一般（高校生以上）
- 【定員】 15名（先着順・要申込）
- 【参加費】 800円（材料費）
- 【申込】 龍野図書館（電話可）2月15日（土）から受付。



重要！！ 図書館からのお願い

**2月18日（火）から、図書館蔵書検索ページのURLおよび予約連絡用メールアドレスが変更になります。**

対象ページをお気に入り登録およびメールアドレスを電話帳に登録している方は修正をお願いします。

※迷惑メール設定をしている方は、ドメインの変更も併せてお願いします。

詳細は、各館で配布しているチラシをご覧ください。（波線部が変更になります）

【変更後：蔵書検索用ページURL（WEB）】※スマートフォン、携帯サイトの変更後URLはチラシを参照。

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/tatsuno-city/webopac/index.do>

【変更後：予約連絡用メールアドレス】tatsunocity\_library@info-a.lics-saas.nexs-service.jp

【変更後：ドメイン名】@info-a.lics-saas.nexs-service.jp

## おすすめする子どもの本・160

### 『ふたりはともだち』 アーノルド・ローベル 作 三木 卓 訳 文化出版局



ある日、かえるくんが友達のがまくんの家に行くと、がまくんが悲しそうな顔をして玄関で座っていました。かえるくんが理由を尋ねると、がまくんは今まで一度も手紙をもらったことがないので、手紙を待っている時が悲しいと答えました。

すると、かえるくんは用事があると言って突然帰ってしまいました。家に帰ったかえるくんは急いでがまくんへ手紙を書きました。手紙を持って家から飛び出したかえるくんは、途中で知り合いのかたつむりに会い、がまくんに手紙を届けてくれるようお願いしました。

かえるくんががまくんの家に戻ると、が

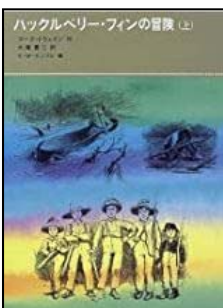
まくんは昼寝をしていました。かえるくんはがまくんを起こし、もう少し手紙を待とうと誘いますが、がまくんは「きやしないよ」と、嫌がりました。そこで、かえるくんはがまくんにこっそり手紙を書いたことを打ち明けました。手紙の内容を聞いたがまくんはとても喜びました。それから2人は幸せな気持ちで仲良く一緒に玄関で手紙を待ちました。4日後、かたつむりががまくんの家に着き、がまくんは手紙を受け取りました。

この「おてがみ」を含む5つのおはなしが収録されています。かえるくんとがまくんの友情が感じられるとともに、ユーモラスなやりとりと温かみのある絵に心が和みます。読んであげるなら5歳くらいから。

(揖保川図書館 楠田)

### 『ハックルベリー・フィンの冒険』上・下

#### マーク・トウェイン 作 大塚 勇三 訳 福音館書店



ハックルベリー・フィン（ハック）は根っからの自然児ですが、今はおばさんのところにおいて、服も着、森ではなくベッドで寝て、いやいやながらも学校に行き、字も読めるようになりました。

ある日、行方不明だった飲んだくれの父親が帰ってきて、暴力をふるうのでハックは逃げだそうと思いますが、かといって窮屈なおばさんの元へも戻りたくないのです。カヌーでミシシッピー川の中州の島へ行きます。そこで、奴隷制のない自由州へ行こうとしていた近所の黒人奴隷・ジムを見つけます。ところが、町では同時期に2人がいなくなったため、ジムがハックを殺して逃げたことになっていて、ジムに300ドルの賞金までかかっていた。

ハックはジムとともに自由州に行こうとしますが、“死人”と“人殺しのおたずねもの”ゆえに、誰にも見つからないように昼間は森に隠れ、夜に筏で川を下っていきました。濃霧の時には、お互いの行方がわからなくなったり、「王様だ。公爵だ。」と名乗って筏に乗り込んできたペテン師2人の遺産詐欺に巻き込まれたり、ハラハラする冒険が続きます。

ハックが逃亡奴隷を隠す罪の意識に悩みながらも、旅の道連れとして心を通わせたジムを、隠し通す顛末に深い余韻が残り、ジムの処遇が明かされるラストに安堵します。

ヘミングウェイは「現代のアメリカ文学はすべて、この本から出ている」と述べています。（訳者あとがき）

『トム・ソーヤーの冒険』の続編。中学生くらいから。（御津図書館 大西）



# 2月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など **※新宮図書館は新宮公民館で実施します。**

## 龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

15日(土)  
11時～11時20分  
『にゃんにゃん』他

## 揖保川図書館

【対象】1～2歳児、保護者

1日(土)・20(木) 10時30分～10時45分  
『ごろんごゆきだるま』他

【対象】3～4歳児、保護者

8日(土)・15日(土) 10時30分～10時50分  
『しおちゃんとこしょうちゃん』他

## 新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

9日(日)・29日(土)  
11時～11時20分  
『ゆきのひのうさこちゃん』他

## 御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

9日(日)・16日(日) 11時～11時20分  
『どうぶつのかどもたち』他

【対象】5歳児～

9日(日)・16日(日) 11時30分～11時50分  
『ランパンパン』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

## 新宮図書館

8日(土)・22日(土)  
10時15分～10時45分  
「かしこいモリー」他

## 揖保川図書館

1日(土)・8日(土)・15日(土)  
11時～11時30分  
「ついでにペロリ」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

## 龍野図書館

14日(金)  
10時～11時30分  
『夜の谷を行く』  
桐野 夏生 著

## 揖保川図書館

7日(金)  
10時～12時  
『必要のない人』  
内館 牧子 著

## 御津図書館

19日(水)  
13時30分～15時30分  
『私の大往生』  
週刊文春 編

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

## 龍野図書館

13日(木) 10時～11時30分  
『アンナプルナ登頂』 モーリス・エルゾーグ 著



## 館内特集・展示 (一部紹介)

### 龍野図書館

#### 猫のいる風景

2月22日は日本の『猫の日』。猫の写真集、猫の登場する小説、猫の生態についての本などを集めています。猫たちの気ままでのんびりとした姿を本の中に探してみてください。

【期間】2月28日まで

### 新宮図書館

#### 心も体もほっこりと

寒い季節です。冷え取りの工夫、体が温まる飲み物やお料理、編み物、暖かい暮らしの知恵、優しい気持ちになる小説や写真集など、表紙を眺めるだけでもほかほかしてくる本の特集です。

【期間】2月29日まで

### 揖保川図書館

#### 小説に出てくる偉人たち

過去の偉人たちが登場する小説を集めました。彼らは一体どんな人物だったのか。作家が創り出したさまざまな人物像に触れてみませんか？

【期間】2月29日まで

### 御津図書館

#### 日本文化と和の世界

日本古来の茶華道・香道・武道等は無論のこと、海外からの“クールジャパン”の視点も加わり多様化する日本文化や、和の世界を表現する本を集めました。

【期間】2月28日まで